

1. 補助事業名

特別電源所在県科学技術振興事業補助事業

2. 補助事業の事業主体

岡山県

3. 実施場所

岡山県（岡山県庁） 産業労働部産業振興課 農林水産部農政企画課	〒700-8570	岡山市北区内山下二丁目4番6号
岡山県工業技術センター	〒701-1296	岡山市北区芳賀5301
岡山セラミックスセンター	〒705-0021	岡山県備前市西片上1406-18
岡山県農林水産総合センター生物科学研究所	〒716-1241	岡山県加賀郡吉備中央町吉川7549-1
岡山県農林水産総合センター農業研究所	〒709-0801	岡山県赤磐市神田沖1174-1
岡山県農林水産総合センター水産研究所	〒701-4303	岡山県瀬戸内市牛窓町鹿忍6641-6
岡山県農林水産総合センター森林研究所	〒709-4335	岡山県勝田郡勝央町植月中1001
岡山県農林水産総合センター畜産研究所	〒709-3494	岡山県久米郡美咲町北2272
岡山県岡山家畜保健衛生所	〒709-2123	岡山市北区御津河内2770-1
岡山光量子科学研究所	〒703-8278	岡山市中区古京町1-7-36

4. 補助事業の概要

岡山県の科学技術振興に資する研究開発や研究基盤の整備を図ることを目的に、県立試験研究機関での研究を推進するために必要な機器の整備・維持を実施した。また、試験研究事業を県立試験研究機関及び県内の大学等の研究者への委託により実施した。平成28年度は、整備事業として8事業、試験研究事業として36事業を実施。

5. 補助事業に要した経費及び補助金充当額

補助事業に要した経費：470,038,990円
補助金充当額：470,038,990円

6. 補助事業の成果及び評価

(1) 成果

本県では、今後の成長が期待される分野及び県民の生活向上に不可欠な分野として、医療・福祉・健康関連分野、バイオテクノロジー関連分野、基盤技術関連分野（ものづくり基盤技術、新素材・セラミックス分野）等への重点的な取り組みを行っているところであり、本補助事業では、県立試験研究機関等への機器整備及び県立試験研究機関・大学等の研究者への委託による試験研究を実施した。

整備事業においては、岡山県農業総合センター農業研究所に農作物の香りの特徴や強さを客観的に評価するためのにおい嗅ぎGC-MSシステムや土壌中の塩基成分やCEC（陽イオン交換容量）を迅速かつ正確に測定するCEC全自動汎用抽出器を整備し、ブランド力の高い県産農作物の生産技術を効率的かつ高精度で開発する環境が整った。科学的知見に基づく生産技術の移転を推進することで、農業従事者が多く存在する電源立地地域の振興に寄与できるものである。

試験研究事業では、岡山県工業技術センターにおいて、「ハイブリッドプラズマによるDLC（ダイヤモンドライクカーボン）皮膜技術に関する研究」に取り組み、輸送機器部品における摩擦低減や生体材料への適用に大きく期待が寄せられるDLC皮膜について、樹脂基材上に緻密で硬質な水素含有DLC膜を形成することに成功した。

また、委託研究により実施した「省エネルギー材料としての酸化グラフェン複合体の開発と深化」において、次世代電池材料や潤滑剤等の各種機能材料用途への展開が期待される酸化グラフェンの量産化につながる知見が得られた。

これらの研究成果は、岡山県内産業の強みである医療・福祉・健康分野や基盤技術関連分野の振興に大きく寄与するものである。

(2) 評価

本県の試験研究機関では、限られた行政資源を有効に活用し、試験研究を効率的・効果的に推進するため、試験研究機関ごとに外部有識者で構成する外部評価委員会を設置しており、本補助事業による機器整備や試験研究等についても3年ごとに機関評価を実施している。平成28年度実施事業の評価については、平成29年7月から8月の間に実施予定である。

また、大学等への委託研究についても同様に、外部有識者及び担当課職員を審査員として成果の評価を実施している。評価結果においては、研究者の平均得点率が70%以上となり、一定以上の成果が得られた。

こうした評価結果の活用により、今後の機器整備や試験研究内容の見直しを適宜実施し、本県の科学技術の振興に引き続き取り組む。